第8回研究発表大会は下記日程で開催されました。

大会会場
京都教育大学　藤森学舎　F棟（共通講義棟）

第1日

平成14年6月8日（土）12時30分から受付開始（F棟-玄関）

理事会（F－21号室）11時00分～13時30分

自由課題研究発表（発表25分・質疑30分　F－16号室・F－26号室）

分科会1（F－16号室）

司会者　佐野　安仁（徳島文理大学）
大庭　茂美（九州女子大学）

1　13時30分～14時25分

「「共同体」と「個人」の関係性の再検討－90 年代アメリカ道徳教育論議から－」

奥野佐矢子（広島大学大学院）

2　14時30分～15時25分

「価値高い生き方との対話から自己を見つめる道徳学習－総合的学習との連動をはかった道徳の時間の展開を通して－」

石硯　昭雄（福岡県前原市立抬土小学校）

3　15時30分～16時25分

「「補充、深化、統合」を具体化する道徳の時間のあり方」

服部　敬一（大阪教育大学教育学部附属天王寺小学校）

4　16時30分～17時25分

「中国における構造化方式の展開」

金井　肇

分科会2（F－26号室）

司会者　渡邊　満（兵庫教育大学）

七條　正典（香川大学）

**1**　13時30分～14時25分

「前成人期ち世話(care)とのかかわりについての一考察－E.H.エリクソンと N.ノディングズの理論に基づく考察－」

戸来　知子（大阪市立大学大学院）

**2**　14時30分～15時25分

「よさをひき出す道徳の授業」

横尾　俊美（滋賀県長浜市立北中学校）

**3**　15時30分～16時25分

「「総合的な学習の時間」と道徳・社会科との関連－総合的な学習「人権」を手がかりとして－」

三宅　康文（奈良県香芝市香芝中学校）

**4**　16時30分～17時25分

「指導困難校（学級崩壊等）における道徳・心の教育のあり方について－生徒指導上の諸問題を抱える中学校での道徳教育についての考察－」

天野　順造（高知県南国市立香長中学校）

懇親会（於：大学会館食堂）18時00分～20時00分

第2日

平成14年6月9日（日）9時00分から受付開始（F棟－玄関）

自由課題研究発表（発表25分・質疑30分　F棟－大講義室2）

分科会3（F棟－大講義室2）

司会者　林　泰成（上越教育大学）

1　9時30分～10時25分

「情報通信ネットワークを利用した道徳資料の開発と活用に関する研究」

石本康一郎（岡山県熊山町立豊田小学校）

2　10時30分～11時25分

「多地点接続による道徳授業」

上薗恒太郎（長崎大学）・増田　祥子（長崎県時津町立時津小学校）・山本　和佳（長崎県大村市立竹松小学校）・内野　成美（長崎大学教育学部附属教育実践総合センター）・藤木　卓（長崎大学）・中村　千秋（長崎大学）・森田　裕介（長崎大学）

会員総会（F棟－大講義室2）11時35分～12時30分

（昼食休憩　12時30分～13時30分）

評議員会（F－21号室）12時30分～13時30分

シンポジウム（F棟－大講義室2）13時30分～16時00分

シンポジスト　菅　　京子（岡山中央南小学校）

塚田　洋子（鳥取県佐治中学校）

田井　康雄（京都女子大学）

新宮　弘識（淑徳大学）

司会者　　白木みどり（石川県松任市立北星中学校）

藤永　芳純（大阪教育大学）

---

## シンポジウム「心のノート」の可能性と課題

趣旨説明

文部科学省は、道徳教育の充実を期して、全国の小・中学生に「心のノート」を配布した。文部科学省によれば、このノートは次の三つの性格を持っている。第一は、児童生徒が道徳的価値について自ら考えるきっかけをつくる自学自習用の冊子として、第二に、自己の生活や体験を振り返り、心の記録することのできる生活ノート的な冊子として、第三に、保護者が見たり記入したりすることで、学校と家庭との「架け橋」的な冊子として、である。

「心のノート」の配付を契機に、道徳教育がさらに活性化されることが期待されるが、一部には「心のノート」に疑問を投げかける声もあり、また、使用法に関してはいくつかの問題点が指摘されている。

そこで、本シンポジウムでは、「心のノート」を取り上げ、その作成の趣旨について論議するとともに、教育現場での実践事例を提示しながら、効果的活用の可能性と今後の課題を明らかにしたい。

---